

環境活動レポート



〔2009 年度版〕

(対象期間:2009/9~2010/8)

2010 年 10 月 15 日作成

木田工業株式会社

目 次

1. 環境方針	2
2. 会社概要	3
3. 環境目標とその実績	5
4. 主要な環境活動計画の内容及び取組結果の評価	6
5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	6

1. 環境方針

環 境 方 針

基本理念

私たちは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを全員で認識し、企業活動のあらゆる場面で、地球環境の保全に取り組み、地球環境と調和した持続可能で豊かな社会の形成に貢献します。

行動指針

1. プラスチックの切削加工、その他、全ての事業活動において生じる環境への負荷を低減するために、環境経営システムを確立し環境活動の継続的改善を行います。
2. 全ての部門で次の削減に取り組めます。
 - 1) 二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 廃棄物排出量の削減
 - 3) 水使用量の削減
3. 不良の低減、端材の工夫活用による材料削減で、使用材料の効率化を図ります。
4. 私たちは、環境に関する法律、規制、及び当社が合意するその他の要求事項を遵守し、地球環境との調和、並びに汚染予防に努めます。
5. 環境方針は、全ての従業員、及び当社に直接関わる人々に周知し、環境保全活動推進への意識を高め、よき地域企業として社会に貢献します。
6. 環境活動レポートを広く一般に公表します。

2009年 10月 1日

木田工業株式会社

代表取締役社長 **木田 豊**

2. 会社概要

2.1 事業所名及び代表者名

木田工業株式会社

代表取締役社長 木田 豊

2.2 事業所の所在地及び認証・登録範囲

所在地	認証・登録範囲の該否
東京都大田区矢口 1-5-8	該当

2.3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 部長 熊井戸富美男

担当者 品質保証部 熊井戸富美男

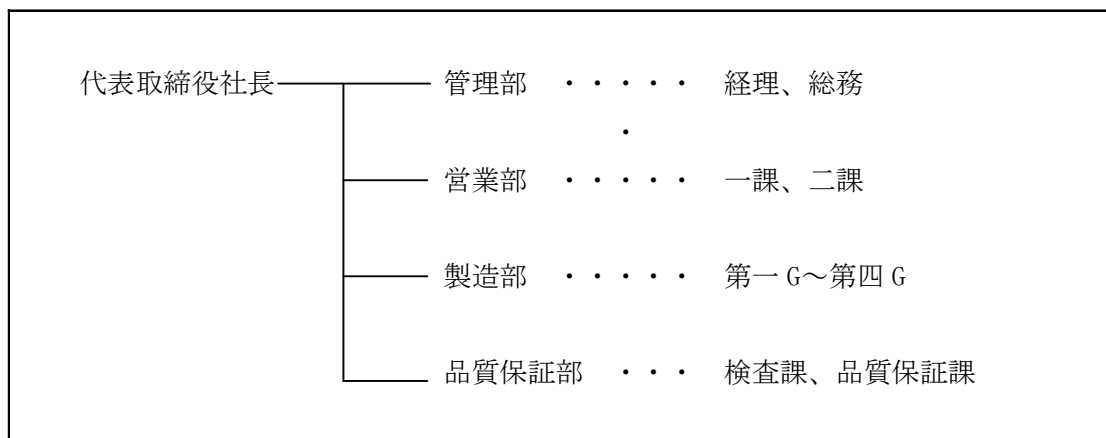
連絡先 電話 03-5741-7410 F A X 03-5741-7413

E-mail f-kumaido@kida-i.com

2.4 事業活動の概要

プラスチック製品の切削加工及び組立（エンジニアリングプラスチックパーツの製造を含む）

2.5 会社の組織



2.6 事業の規模

(1) 資本金

2,000 万円

2) 主要製品の生産量・出荷量（ 2009 年度：2009/9～2010/8）

製品名	生産量・出荷量 (kg)
アミューズメント用外装品	10,751
その他プラスチック切削加工品	62,389

(3) 従業員数

社員 50名 パートタイマー 10名 合計 60名

(4) 事業所の敷地・建屋面積

敷地面積	建屋延べ床面積
1,140 m ²	3,185 m ²

2.7 施設等の状況

[主な機械設備及び車両等]

設備名	能力仕様	台数
マシニング	300×300×300 ～ 2050×1060×800	27
NC旋盤	φ25 ～ φ320	20
旋盤	φ230 ～ φ720	10
NCフライス	700×350 ～ 750×400	7
フライス	400×150 ～ 750×400	3
溶接ガン		5
NCドリラー		2
プレーナ		3
パネルソー		2
バフ機		4
鏡面機		1
その他、生産設備		18
車両	ガソリン車	6
車両	ハイブリット車	1

2.8 許認可・届出の内容

許認可・届出の区分	名称	許認可・届出先	年月日
許認可	工場設置認可申請書	大田区長	H19.11.6
届出	特定施設設置届出書	大田区長	H19.11.6

3. 環境目標とその実績

環境目標	取組項目	基準値		2009年度 2009/9～2010/8	2010年度	2011年度
1. 二酸化炭素 排出量の 削減	①電力使用量 の削減 ②化石燃料 使用量の 削減	2008年度 実績 247.5 Kg-CO2 /百万	目標	基準値の 1.2%削減 244.5 Kg-CO2	同左 2.2%削減 242.0 Kg CO2	同左 2.7%削減 240.8 Kg CO2
			実績	242.1 Kg-CO2	— Kg CO2	— Kg CO2
			達成	○		
2. 廃棄物 排出量の 削減	廃棄物のリサイクル 及び最終廃棄 物の削減 (リサイクル率向上)	2008年度 実績 58.1 % リサイクル量/ 総排出量	目標	基準値の 3ポイント改善 59.8%	同左 4P改善 60.4%	同左 5P改善 61.0%
			実績	59.8% (3P改善)		
			達成	○		
3. 水使用量 の削減	水の効率的な 利用	2008年度 実績の 維持・継続 0.93/人 [m ³ /月]	目標	基準値の 維持・継続 0.93/人	同左 0.93/人	同左 0.93/人
			実績	0.81/人		
			達成	○		
4. 地域環境 保全活動 の推進	地域清掃活動	2008年度 実績なし	目標	清掃の啓蒙 隔月清掃	毎月清掃 (一般従業員 に展開)	同左
			実績	朝会で徹底 隔月清掃 (※)		
			達成	○		

(※) 地域美化活動風景



4. 主要な環境活動計画の内容及び取組結果の評価

目標 項番	取組項目	具体的活動内容	○ △ ×	取組結果の評価	今後の取組み
1.	①電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み時間の消灯 ・照明照度調査 ・電力の可視化取組 	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・従来から取組継続 ・具体的データ把握 ・システム導入開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産設備の効率化検討 ・最大需用電力のコントロール
	②化石燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ 10 カ条の作成活用、車使用者へ主旨徹底 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・第一段階としてエコドライブの必要性を認識 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの定着に向け定期的に確認する
2.	廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルの成果 ・新規リサイクル会社の調査、試行 ・端材の効率的な活用 	○ ○ △	<ul style="list-style-type: none"> ・年度の後半に成果 ・新規販売先との取引開始 ・QC 表の書式と運用システムを変更、端材の効率的活用は次年 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の分別精度の向上 ・端材のリユース化の向上
3.	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・水の節水が如何に大切なことか、ポスターを作成、水使用箇所へ掲示 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・第一段階として有限で大切なものであると認識 ・初年度効果大 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続し機会（朝会）ある毎に啓蒙による意識の向上を図る
4.	地域環境保全活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・全社員への主旨説明 ・推進委員への説明 	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての取組なため時間を掛けて説明、隔月の清掃活動をスタートさせた 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は月一回の活動とし一般従業員まで取組みを拡大し、定着を図る

5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

5.1 環境関連法規の違反

当社に適用される環境関連法規等については、平成 22 年 8 月 27 日 遵守状況点検の結果、問題ないことを確認しております。

(確認関係法令・条例：廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の処理及び再利用に関する法律、循環型社会形成推進基本法、資源の有効な利用の推進に関する法律、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、エネルギーの使用の合理化に関する法律、東京都生活環境保全等に関する条例、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律、大田区廃棄物の減量及び適正処理に関する条例)

5.2 訴訟等

当社の環境管理に対する利害関係者からの訴訟又は関係当局からの指摘等は過去 3 年間ありません。